

就職活動を終えて

植物生産環境科学科 Aさん・Bさん・Cさん（平成25年度卒業）

就職活動を終えて早半年が経とうとしています。3年生の就職活動も始まりを迎えていることと思います。私自身3年次の12月に複数企業にエントリーをしました。しかし、勤務地を地元にしていて関係上3社程度しかエントリーしませんでした。併せて、自分自身で企業を開拓していきました。具体的には、地元のハローワークを利用したり、市町村で行っている説明会に行ったりしながら就職活動をしました。説明会ではできるだけ人事担当の方と仲良くなって、色々なアドバイスを頂くと同時に顔を覚えてもらうことがとても重要だと思います。私はそのおかげで内定を頂けたと考えています。あとはSPIの勉強を早めにして、いつ受験してもいいようにしておくことも大切だと思いました。（Aさん）

私はとにかく地元で働きたいという思いがあったので、地元を中心に就職活動を行ってきました。まずはどこを中心に就職活動を行うのかを早めに決めることをお勧めします。あとは、少しでも気になる企業があればとにかく説明会に行くこと、試験を受けてみること！エントリーシートを何枚も書くことで自分自身の事がはっきり見えてきます。面接は受ければ受けるほど自信がつくはずですが、面倒だなと思うこともあるかもしれませんがそこはグッと我慢して、とにかく色々な企業の採用試験を受けてみてください。そして、たまにはご褒美としてちょっとした贅沢をすること！美味しいものを食べるもよし、買い物に行くもよし、うまく息抜きしながら、自分のペースでこれから就職活動を頑張ってください。応援しています。（Bさん）

私が思う就活をする際のアドバイスとして、二つあります。まず「学生就職支援課を利用すること」です。大学会館の三階に、ハローワークの方が面接の練習をしてくださる部屋があります。自分では気づかなかったところを指摘してくださるので大変助かりました。そして「就活の仲間をつくること」です。就活が始まり不安だった時、就活をする人達で集まって、ご飯を食べながら話をしたこともありました。色々な情報を得られるだけでなく、就活の不安を皆で共有しあえたこと、その時初めて出会った人と今でも交流があるので参加してよかったと思いました。諦めないことと対策を練ることが大事なと思うので頑張ってください！（Cさん）

就職活動がきつい、大変と思うことがあるかもしれませんが、しかし、自分自身の心の持ち方で如何様にもなります。何か楽しむ方法を見つけながら、無理をしない程度に就職活動をしていくことが一番大切だと思います。企業は探したらいくらでもあるので、内定を貰えなくてもめげずに挑戦し、内定を勝ち取ってください。応援しています！！！！

公務員試験に対する心構え

森林緑地環境科学科 Dさん（平成25年度卒業）

これから就活へと向かう皆さん、特に公務員試験を受験し公務員を目指す皆さんに対して、勉強方法のアドバイスというよりも心構えを中心に書いていきます。役に立つアドバイスができるかは分かりませんが、実際に公務員試験を経験した者として感じたことを書きますので参考程度に読んでください。

何かを志して農学部に入られた皆さんは、今後も大学での勉学を活かせる仕事として、技術系の公務員を選択したい人もいます。公務員志望者が多く、狭き門となっている近頃ですが、技術系に限って言えば倍率は低く、十分合格の可能性があると言えます。公務員は難しいから、勉強が大変だから、面接が嫌だ、とあきらめないで、継続する気持ちさえあれば合格することは可能だということが実感としてありました。本当にあきらめないでよかったです。

もちろん、継続することは容易いことではありませんでした。公務員試験期間全体を通して、同じように公務員を目指す仲間とのつながりが心の支えとなりました。幸運なことに、私が所属する研究室のメンバーは、私を含めて4人中3人が公務員志望であり、学科にも公務員志望者が多くいたのです。仲間が周りにいると、お互いに励まし合ったり、試験の情報交換をしたり、勉強で分からないところを補い合ったりすることができ、相乗効果が生まれました。また、仲間でもありライバルでもあるため、切磋琢磨しモチベーション向上にもなりました。その結果、同じ研究室の3人は全員志望先の内定を頂くことができましたし、この年度の学科の公務員内定者は10数名と良い結果が出たと思います。就職活動を振り返って、自分一人だけで勉強していたならば合格できなかつたらうと感じています。

このように、周りの支えによって就職活動を乗り越えられるということも頭に入れておいてほしいと思います。もちろん、自学自習が一番大切ですが、同じように頑張っている周りの仲間とのつながりも大切にしてほしいです。公務員試験に対する心構えが中心で、勉強方法については特段アドバイスができずにすみません。勉強方法や試験内容などについては自分で志望先のホームページなどを調べたり、先生に聞いたりすれば問題ないと思います。皆さんの就職活動・公務員試験がうまくいくように願っています。あきらめず、力を合わせて頑張ってください！

Appreciation makes your job hunting fun!!

応用生物科学科 Eさん（平成25年度卒業）

「就職活動」と聞くと、みなさんはどんな気持ちになりますか？「内定をもらえるか不安」「みんなより就活が長引いたらどうしよう」そんな声が聞こえてきそうですね。不安になって当然です。でも敢えて私は「就職活動は楽しんだ者勝ち！」という言葉を送りたいと思います。「何を言ってるんだこの先輩は」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、確かに無責任に「就活を楽しもう」なんて言うてはいけませんね。今回は就活を楽しむ&充実したものにするための、私なりの「心がけ」について書いてみたいと思います。

私が就活中に心がけたこと、それは「感謝の気持ちを忘れないこと」です。

就活中、私は多くの方にお世話になりました。就活費の大半を援助してくれた両親、車を持っていない私のために駅まで送り迎えをしてくれた友人、私がいなくても代わりに掃除や洗い物をしてくださった研究室の先輩方や同輩たち、いつもエントリーシートを添削してくださったキャリア支援課の方々、熊本で説明会や試験がある度に家に泊めてくれるばかりか、一緒に自己（他己？）分析をしてくれた親戚、バスの中でスーツ姿の私に声をかけてくださり、就活の悩みを聞いてくださった女性。

どんなに自立した学生でも、就活中は必ず多くの方のお世話になります。就活は自分の将来のためのものですが、何度も言うように一人では乗り越えることはできません。

感謝の気持ちを持てば、心に余裕ができます。心に余裕ができれば自然と笑顔になります。説明会や面接で笑顔が光れば、初めて出会う就活生や人事担当者の目に留まります。

私は今こうして振り返ると、どんなにスケジュールが込み合っている、お世話になった方々のおかげで「よし、頑張るぞ！」という気持ちになることができました。結果として多くの人事担当者や同じ就活生に「笑顔が素敵」「話していて楽しい」と声をかけていただき、楽しい時間を過ごすことができました。また、そうした方々から多くのことを学ばせていただきました。

たとえ「お祈りメール」が自分のもとに届いたとしても、落ち込んだり腹を立てたりせず、現実を受け止めて、お世話になっている方々のためにもう一度頑張ってみてください。

常に謙虚な姿勢を忘れず、就活を通して多くのことを学んでください。

難しいかもしれませんが、実践すれば必ず楽しい就活になることを保証します。

公務員試験合格への道

海洋生物環境学科 Fさん（平成25年度卒業）

この文章を読む方は公務員試験合格を目指す方だと思うので、公務員試験を受けるにあたり必要、重要だと思うことを執筆しました。私が公務員試験対策を行った経験上感じたものですので、これが絶対正しいというものではありませんが、これから試験対策を進めていく上で参考程度に読んでいただければと思います。

まず、自分の受験する省庁もしくは自治体の試験はどのような試験なのか、という情報収集をしてください。この時重要なことが、自分が受験する試験区分の試験科目、配点をよく調べることです。筆記試験は科目がとて多く、どの科目を一番に勉強すべきなのかを把握することが重要です。配点が低い科目や今まで勉強したことの無い科目、いわゆる捨て科目を作ることも大切だと思います。私の受験した自治体は配点が教養試験：専門試験＝1：2でしたので、専門試験の方を重点的に勉強しました。また「公務員試験受験ジャーナル」という公務員試験情報誌もあり、試験に関するコツや最新の情報などが載っているので、読んでおくといいでしょう。

次に、自己分析などの面接対策をしっかりと行ってください。公務員試験は筆記試験が山という印象ですが、面接試験こそが重要で、最終合格への決め手となります。筆記試験の勉強と同時進行で行うのが理想的ですが、私は筆記試験後に対策をしましたので、それでも十分だと感じます。面接対策は研究室の先生に試験官役になっていただき、模擬面接を繰り返しました。民間企業志望者に比べ公務員志望者は面接の経験が浅いので、短期集中して面接の経験を付けていくのがいいと思います。

以上、公務員試験対策に関する実践的なことを記しましたが、結局はいかに自分がモチベーションを維持して試験対策を続けていけるかということだと思います。私の場合、公務員講座には通わず独学で試験対策を進めていましたが、研究室に公務員試験に合格した先輩が

いたため、直接アドバイスや過去問、資料などを頂くことができました。公務員試験は試験科目も多く面接もがっつりあり大変厳しいですが、継続して努力することが最終合格への道だと思います。

結局は自分次第

畜産草地科学科 Gさん（平成25年度卒業）

成功談が多いと思うので、私は失敗談を書こうと思います。私は公務員と民間の就活を同時並行で行いました。結果は、公務員になることが出来ず、民間に決定しました。公務員の試験対策の方は、三年生から生協が行っている公務員講座に通っていました。やむを得ない場合を除き、講座講義はすべて出席していました。試験が近づくと、工学部の自習室で日付が変わるまで自習等をしていました。不安だから両方やっとうとうという考えで、就活もしました。この考えのため、公務員勉強が十分に出来ず失敗したのだと実感しています。

就活を意識し始めたのは、大学で就活準備セミナーが行われ始めた時でした。まだまだセミナーに参加する人なども少なく、周りが就活ムードになっていないということもあって、私も時間が空いている時になんとか参加していました。セミナーに行けばいくほど、就活をしなければならぬと焦りを感じていました。正直、自分の将来展望はなく、業種を無理やり決め、企業説明会には様々なところに参加しました。周りも就活ムードとなって落ち着きのなくなった頃には、自分も周りに合わせて忙しくすることで、勉強が不十分であった不安を消そうとしていたように思います。結局、県外の企業などに説明会に行っても、履歴書まで書くところは少なく、実際に履歴書、もしくはエントリーシートを出した所は一桁位です。このことに関しては、もっと下調べをしていれば行かなくてもよかったのではないかと思うこともあり、金銭面や時間を考えても、浅はかであったと思います。

履歴書については一番初めにキャリア支援課に添削をしてもらい、後は同じ文章を利用しました。その後、幸運にも民間から内定を2社頂き、そのうちの1社に受諾書を提出しました。一段落してみれば民間の就活は、楽しいことも多かったように思います。企業の様々な考えを聞くことで、共感出来ること、出来ないことを知り、その中で自分の考えを確立していくことも出来ました。しかし、いつの間にか民間の就活が主になっていたせいで、公務員の試験に集中出来ていませんでした。就活時期は、不安の多い時期ですが、自分をしっかり持ち、周りに惑わされないことが一番大切だと思います。

読んでくださってありがとうございました。

就職活動を終えて

獣医学科 Hさん（平成25年度卒業）

獣医学科の就職活動では、まず自分がどんな仕事に就きたいかを考えると思います。公務員や企業、臨床系の中でも大動物や小動物など、獣医師を必要とする職種は多く存在します。企業への就職を希望する人はインターンシップへの参加や面接など、他学科の就職活動と同様にいくつもの企業へ応募し、早い時期からの準備が必要なようですが、動物病院やNOSAIなどの臨床系を希望する人は6年生になってから活動を始める人も少なくないようです。

私は入学当時から小動物臨床を希望していたので研究室も臨床系の講座に所属し、就職も動物病院を希望していました。私が本格的に就職活動を始めたのは5年生の夏休みでした。研究室の仕事も忙しく、宮崎を離れて関東や東海地方での就職を希望していた私は長期休暇を利用して一度に2~3個の病院へ実習に行くという方法をとりました。全部で8個の病院で実習を行いました。それらは研究室の先生に紹介して頂いた病院、大学の求人に掲載されていた病院、ホームページを利用して自分で調べた病院など様々でした。動物病院への就職を希望する周りの友人と比較すると就職活動を始めるのも早く、見学した病院の数も多い方でした。

多くの病院へ見学に行くことは金銭的にも時間的にも大変なことだと思いますが、1つ1つの病院に特徴があり、そこで働く獣医師にもいろんな考え方があります。就職活動を始めたばかりの頃は獣医療に対する知識も未熟で自分のやりたいこともわからない状態でした。しかし、いろんな獣医師に出会い、その考え方に触れることで自分のやりたいこと、目標を見つけることができました。私が最終的に選んだのもこの目標が達成できる就職先でした。

就職に求めるものは人それぞれだと思います。しかし、就職がゴールではありません。その後も働いていくうえで自分なりの目標を持つことは大きな支えになると思います。また、なぜ自分がここを選んだのか、その理由が明確であるほど頑張れると思います。

これから就職活動をする皆さんにはしっかりと目標を持って、その目標を実現できるような就職先に入ってもらいたいと思います。頑張ってください。

出だしが肝心

森林草地環境科学専攻 Iさん（平成25年度修了）

今、この就活ガイドブックを読んでいる人は、これから就活をする学生だと思います。まだ、始めるのは早いと考えている人もいると思いますが、準備を怠ると自分の希望する企業へ就職するのは難しくなります。就活は「出だしが肝心」です。私の就活経験から、内定を勝ち取るために何をすれば良いか、自分の経験を踏まえて書いていくので、ぜひ参考にしてください。

就活を始める時期は？

就活が始まるのは12月1日からと思っている学生が多いと思いますが、12月から始めたのでは遅いです。私も12月から始め、何もわからないまま就活を始めてしまった学生の一人でした。大手企業を希望している人たちは、8・9月から自己分析・企業研究を進めています。自己分析ができていなければ、自分の適性がわからず、企業研究不足だと、その会社の善し悪しを見分けられません。「就活の勝敗＝情報量の差」と言っても過言ではないです。周りの学生に合わせるのでは無く、積極的に行動を始めてください。

エントリーシート、履歴書、グループディスカッション、そして面接

多くの企業の採用フローでは、一次選考にエントリーシート(ES)や履歴書が用いられます。企業の採用担当者が、限られた人数で多くのESの選考を多く読むことになるため、ESの内容すべてを読んでもらえるわけではありません。自分が書いたESを見て、分かりやすく丁寧な字か？ 誤字脱字は無いかな？ 読みやすい文章か？ など採用担当者の立場になったつも

りで読み返してください。研究室の先生や就活アドバイザーの方に添削してもらった方が良いと思います。

グループディスカッション(GD)や面接は、必ず練習、準備が必要です。GD の議題や面接で聞かれる内容の多くは、その企業に関することです。対策としてその企業の目標、抱えている問題など企業研究が必須です。また、面接は、予想以上に緊張します。履歴書の内容を、より深く、自分の言葉で分かりやすく説明するためには、面接を意識した模擬練習が必要です。最近では、就活情報サイトで各企業の GD や面接の出題傾向を内定者の方々が投稿してくれています。これらを参考に、GD、面接練習に役立ててください。

内定を得るまで諦めない

企業の採用人数に限りがある以上、内定を得るのは難しいです。途中で挫折してしまう学生も多いのが現状です。選考が進まず、苦しむ時期もあると思います。そんな時は1人で悩まず、周りの人に相談してください。私も、研究室の先生方や友人にアドバイスを貰い、励みにしてきました。

最後に、GD や面接を含めて就活は、最初は苦戦が続きますが、慣れると選考がサクサク進むようになります。自分の希望する企業の内定を得るまで、頑張ってください。

自分を知る

地域資源管理科学専攻 Jさん (平成25年度修了)

就職活動のためのセミナーや会社説明会が始まりだす12月。肌寒い中、慣れないスーツに身を包み参加したのを覚えています。

会場に着き、多くの学生を見た時に「ついに自分の就職活動が始まった」と実感しました。心の準備もまったく出来ていなかったのも、初めての会社説明会は企業の方とうまく話すことが出来ませんでした。ですが説明会に参加したことで収穫がありました。それは自分の考えが固まっていなかったことに気付けたことです。企業の説明を聞いて、担当の方と話すうちに「自分のやりたい事は何なのか」「仕事をする上で何を大切にしたいのか」自分のことなのに分かっていませんでした。

そこで、今までの自分を振り返り、考えを整理するために自己分析を行いました。この作業が就職活動において一番重要なポイントだったと僕は思っています。自分の歴史を振り返ることで、考え方やこれまでの経験を整理することが出来ました。

先ほど述べた自己分析が重要な鍵となるのが面接試験です。採用試験において避けて通れない難関ですが、面接官に自分の考えを伝えられる場です。「仕事を通してやりたい事・なりたい自分・自分の考え」をアピールする材料としてこれまでの経験を語りましょう。

学生の就職活動においては採用試験に合格する事がゴール地点です。しかし、学生を卒業して社会人になるというスタート地点です。これから就職活動に挑むみなさん、「仕事を通してやりたい事」「なりたい自分」はありますか？思い付かない場合はこれまでの自分を振り返ってみてください。今、見えていなくてもきっと見えてくるはずですよ。就職活動中に不採用の通知を見て落ち込んだり、自分に向いている職業は何か悩んだり、苦難に直面する事

があるかもしれません。ですが、最後まで挫けず、思いを貫き、10年後20年後、自分の理想とする社会人になれているよう頑張ってください。

就活を成功させる3つのコツ

応用生物科学専攻 Kさん（平成25年度修了）

私は他の人に比べて説明会や筆記試験、面接等を受けた回数があまり多くないため説得力に欠けてしまうかもしれませんが、約8か月の就職活動内で感じた「これは大切だ」と思った事を3つにまとめてみました。もし参考にしてもらえたらうれしいです。

1. 自分のやりたい事を明確にする

恐らく、早く受かりたい一心で手当たり次第に試験、面接を受けようとする人が多いと思います。しかし、様々な会社のESを作成し、試験、面接を受けることは非常に負担がかかります。その為、興味のある職種の中で自分が本当やりたい事を大学入学時の思いや入学後の体験、子供の頃の思い出等、今まで自分が経験した事をヒントに探して選別することが最初にやるべき重要なことだと私は感じました。私の場合、就きたい職種を1つに絞ったことでESを書くときに苦しいというよりもむしろ昔の事を思い出しながら楽しく書くことが出来ました。

2. ぶっつけ本番にならない

実際に就職活動を始めると分かるのですが、ESの提出期限やその後の面接予定日を迎えるのは思ったよりも早いものです。その為、添削を全く行わずにESを提出したり、練習をせず面接を受ける人がいます。私の友人の中にも何人かいましたが結果は思わしくなかったようです。ESや面接で自分が伝えたいことは自分では理解出来ても他の人には上手く伝わっていない場合があります。そうならないように友人同士でESのチェックを行ったりハローワークの方等に頼んで模擬面接を行ってみてください。徐々に自分の伝えたいことが整理されていく感覚が分かってきます。また、面接練習を行っていくと自分が自覚していない「自身の強み」を知ることが出来ます。これは非常に大きな武器です。実際に私もその強みの部分を内定先から評価していただきました。このように誰かに客観的に見てもらう事で新しい自分の才能、一面に気づくことが出来るので、非常に重要だと私は考えています。

3. 楽しんで就職活動を行う

今後の人生を決める大切なことを、楽しいなんて感情を持ちながら出来るわけないと考えている人もいるかもしれませんが、そんなに思いつめても結果が良くなるわけではありません。私はむしろ試験や面接先で出会う人たちとの会話やその土地の食事、景色等を楽しむことで精神的にも充実し、晴れ晴れとした気持ちで試験、面接に臨めるようになっていっています。是非気負うことなく「何事も楽しむ」という感覚を持ち続けて下さい。

これから今までの人生よりもさらに長い人生をどのように歩いていくかの重要な選択を行っていくわけですが、後悔の無いように、しかし気負うことなく楽しみながら過ごして、最後には皆で笑っていられるようになっていくことを願っています。

Pass it on

生物生産科学専攻 Lさん（平成25年度修了）

就活中あるいはこれから始める学生の皆さんへ、宮崎大学だけでは感じることの出来ない、パワーを持った学生が全国にはたくさんいます。是非、宮崎を飛び出して色々な刺激を感じて下さい。私の文章で、これから就活に直面する学生のみなさんへ、少しでも有意義な情報を伝えられれば幸いです。

就活開始時に、既にやりたいことが決まっている学生は非常に恵まれています。決まってないのが普通です。私もその1人でした。大事なものは1つ、**絶対にぶれない自分だけの軸**を作ること（例えば、「宮崎で働きたい」や「研究職が良い」など）。私は「給料の高い大手企業」が軸でした。志望理由はいくらでも肉付け出来ますが、軸がぶれると文章や話しに矛盾が生じるので、気をつけて下さい。また、就活中盤になると、直接企業とメールでやり取りをする場面が増えます。その場合は無理せず、実際に働いている家族や先輩に、適切なメールの定型文やメールでの言葉使いを教えて貰って下さい。

次に、物は言い様だと考えて下さい。等身大の真実だけを伝えて履歴書や面接を通過する学生は恵まれています。95%以上の学生は、自分の力量を加味して脚色して話を作ります。これは、書類選考の段階で**選ばれるためではなく、ふるい落とされないために必要なこと**だと考えて下さい。また100個の企業のホームページを眺めるよりも、30個の企業の個別説明会に参加した方が、知識もモチベーションも人との出会いも格段に増します。人事と直接話す機会も必ず作ります。実際に話してみないと、あなたの魅力は伝わりませんし、企業側の人の魅力も分かりません。そして、メモを忘れないで下さい。人物名や簡単な話の流れ、そこから何を感じたかを残しておく、役立つ時が必ずあります。

面接では①**自信を持つ**、②**相手への感謝**を意識して喋りましょう。仮に質問に答えられなくても「分かりません。今後の課題になりました。ありがとうございます。」と自信を持って言いましょう。

面接官は、あなたが入社した際には上司や先輩にあたる方々になります。あなたがどういう人間なのか、マナーや礼儀をわきまえているか・・・それら以外にも、一緒に働く事を想像してみたりもします。

まとめると、就活の始めにぶれない軸を作り、履歴書ではふるい落とされない工夫をし、面接では自信と感謝を持って臨む。私はこれらを実践して、良いご縁に恵まれました。

最後になりますが、私の就活は友人、家族、指導教員あるいは同じ研究室の学生の協力がなければ上手くいかなかったと思います。就活のスタイルは人それぞれですが、誰しも皆支えられて成長してきたと思います。もし自分の就活が成功したなら、次は後輩にその成功体験をシェアして欲しいと思います。一人でも多くの宮崎大学の学生さんの就活が充実したものになることを願っています。